



声かけ合い 笑顔あふれる
自然豊かな松浦

夢と未来につなげよう!



～ みんなでつながる福祉のまちづくり ～

編集：松浦地区福祉懇談会
 新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
 発行：平成26年3月
 新発田市
 〒957-8686 新発田市中央町4丁目10番4号
 社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
 〒957-0054 新発田市本町4丁目16番83号

松浦地区福祉懇談会
 新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ご あ い さ つ



この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、当松浦地区の「福祉活動計画」を策定させていただきました。

市自治会連合会の肝いりでスタートした地区福祉懇談会は、地区区長会を中心として、各組織及び団体等の代表はもとより、地区回覧文書を通してご参加頂いた大勢の方々の想いを楽しい中にも真剣に語り合いながら、地域の課題をみつめ、良いところの再確認をしあいながら、自らの手で築こうという有志の皆様で都合4度にわたり、話し合いを重ねてまとめたものであります。

この懇談会を重ねるごとに、愛する大好きなふるさと松浦の将来は、やはり地域住民が主体となって考え、協調し、行動し、お互いに助け合える関係を築く事が大切であるとの大方の想いが固まってきたように感じております。

年度を締めくくるに当たり、一応の成果を纏めて本誌を作成いただきましたが、これを機会に、より多くの皆様方にご覧いただくとともに、ご意見を頂き、更に検討を加える機会を作りながら、より議論を深めて、実践につなげられればと願うところであります。

平成26年 3月

松浦地区区長会 会長 齋藤 啓一

目 次

1	計画の概要	
	(1) 松浦地区福祉活動計画とは	1
	(2) 松浦地区福祉活動計画の目的	1
	(3) 松浦地区福祉活動計画の推進に向けて	1
	(4) 松浦地区福祉活動計画づくりの意義	2
2	現状と課題	
	松浦地区福祉懇談会で見てきた現状と課題	3
3	福祉活動計画	
	(1) 基本理念	4
	(2) 基本目標	4
	(3) 計画の実現に向けての取り組み例	5
4	策定方法	
	(1) 松浦地区福祉活動計画策定経過	7
	(2) 松浦地区福祉活動計画策定団体等	8
	(3) ワークショップの様子	9
	(4) 松浦地区福祉懇談会で出された意見	10
5	松浦地区の概要	
	(1) 位置及び特徴	16
	(2) 松浦合併の歴史	17
	(3) 人口と世帯の状況	18

参考資料

新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念と体系	19
------------------------	----

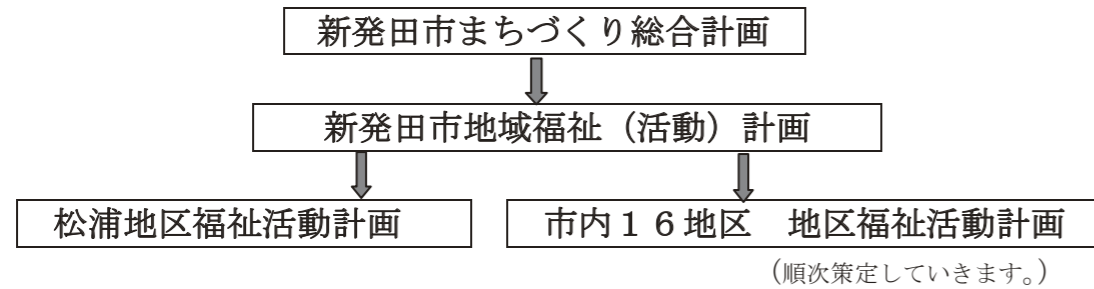
1 計画の概要

(1) 松浦地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民一人ひとりの自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「松浦地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域の中のみんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

(2) 松浦地区福祉活動計画の目的

松浦地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを行政、社会福祉協議会、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域(松浦地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

(3) 松浦地区福祉活動計画の推進に向けて

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、松浦地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

(4) 松浦地区福祉活動計画づくりの意義

松浦地区福祉活動計画を地域の人々で作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の優先順位や重点がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなる。

みんなで作る松浦地区福祉活動計画



2 現状と課題

松浦地区福祉懇談会で見てきた現状と課題

松浦地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは、松浦地区住民みんなの願いです。

この目的のため、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が協働しながら、みんなで松浦地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成25年10月～平成26年3月まで4回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

(1) 地域活動について

- ① 盆踊り、運動会など集客行事が少なくなっている。
- ② 集落に活気がない。
- ③ 青年団がなく若い世代の交流がない。
- ④ 若い世代が少なく、今後の地域活動が心配。

(2) 高齢化の進展について

- ① 一人暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯、高齢者と子だけの世帯が増えている。

(3) 生活について

- ① バスの本数が少なく、通学に不便。
- ② 車がないと買い物や通院が不便。
- ③ 近くの商店が閉店してしまい買い物が不便。
- ④ 雪が多くて除雪が大変。

(4) 子どもに関することについて

- ① 子どもが少なく、子ども会の世帯数が減少している。
- ② 未婚者が増えて子どもが少ない。
- ③ 結婚すると街に出てしまう

(5) 後継者不足について

- ① 後継ぎがない家庭が多い。
- ② 農家の担い手が少ない、嫁も来ない。
- ③ 若者が出ていく。

3 福祉活動計画

松浦地区福祉活動計画

(1) 基本理念（スローガン）

松浦地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的にに関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

声かけ合い 笑顔あふれる 自然豊かな松浦
夢と未来につなげよう！



(2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	気軽に声かけ合える松浦
基本目標 2	高齢者が安心して暮らせる松浦
基本目標 3	困った時に助け合えるお互いさまの松浦
基本目標 4	安心して子育てができ、子どもと高齢者がふれあえる松浦
基本目標 5	若い世代が力を発揮できる魅力ある松浦

(3) 計画の実現に向けての取り組み例

計画の実現に向けて

目標達成の具体的な取組の例 → 福祉懇談会では **自分達でどんなことができるのか** アイディアを出し合いました。



- ◆ 基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆ 実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 気軽に声かけ合える松浦

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・気軽に声かけあえる地域	1	・声かけあいさつ運動を行う ・回覧は一声かけて回す
2	・伝統行事や地域の良さを教え引継いでいく	2	・広報(回覧など)を工夫し、世代間交流できる行事やイベントを行う ・空き校舎を地域の拠点として考える
3	・自然を活かしたイベントなどで世代間交流を図る	3	・地域のリーダーを育てる

基本目標 2 高齢者が安心して暮らせる松浦

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・高齢者が安心して生活できる地域	1	・隣近所の見守り活動を行う
2	・見守り、助け合いができる地域	2	・公会堂でサロンやお茶の間を開催する ・健康体操を推進する

基本目標 3 困った時に助け合えるお互いさまの松浦

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・買い物や通院が便利な地域	1	・地域で野菜の直売所をつくる
2	・有償ボランティアやご近所で助け合う地域	2	・助け合いのボランティア活動を行う ・デマンドタクシーや乗り合いバスを考える
3	・花の咲く地域	3	・クリーン作戦や花で美化活動を行う ・集落で男女のお茶会を開催する

基本目標 4 安心して子育てができ、子どもと高齢者がふれあえる松浦

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・安心して子育てできる地域	1	・登下校時の声かけや見守り運動 ・犬の散歩で登下校時のパトロール
2	・子どもと高齢者がふれあえる地域	2	・地域の高齢者による子育てボランティア

基本目標 5 若い世代が力を発揮できる魅力ある松浦

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・若者が安定して生活できる地域	1	・魅力ある農業を作る ・婚活パーティを開催する
2	・若い世代が中心になった活動のある地域	2	・若い世代が中心の自主防災活動の推進 ・都市部と交流を図る

4 策定方法

(1) 松浦地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内容
平成25年7月22日	説明会 (松浦農村環境改善センター)	・区長会役員会に地域福祉活動計画について説明 (参加者20名)
平成25年8月19日	打合せ (松浦農村環境改善センター)	・地域福祉について区長会三役と打合せ (参加者10名)
平成25年9月6日	打合せ (松浦農村環境改善センター)	・第1回松浦地区福祉懇談会について事前打合せ (参加者8名)
平成25年10月1日	第1回松浦地区福祉懇談会開催チラシの回覧	
平成25年10月8日	第1回松浦地区福祉懇談会 (松浦農村環境改善センター)	・「地域福祉について」研修会 講師: 敬和学園大学 趙教授 ・グループワーク (参加者43名)
平成25年11月12日	打合せ (松浦農村環境改善センター)	・第2回松浦地区福祉懇談会について事前打合せ (参加者4名)
平成25年12月1日	第2回松浦地区福祉懇談会開催チラシの回覧	
平成25年12月4日	第2回松浦地区福祉懇談会 (松浦農村環境改善センター)	・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること まとめと発表 (参加者42名)
平成26年2月3日	第3回松浦地区福祉懇談会開催チラシの回覧	
平成26年2月12日	第3回松浦地区福祉懇談会 (松浦農村環境改善センター)	・グループワーク2 ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること まとめと発表 (参加者41名)
平成26年3月3日	第4回松浦地区福祉懇談会開催チラシの回覧	
平成26年3月5日	打合せ (松浦農村環境改善センター)	・第4回松浦地区福祉懇談会について 事前打合せ 計画書(案) (参加者7名)
平成26年3月11日	第4回松浦地区福祉懇談会 (松浦農村環境改善センター)	・グループワーク3 まとめとスローガン ・懇親会 (参加者39名)
平成26年3月	・松浦地区福祉活動計画(案)修正・確認等	
平成26年3月31日	・松浦地区福祉活動計画完成	

(2) 松浦地区福祉活動計画策定団体等

この松浦地区福祉活動計画は、区長会を中心に民生委員児童委員、保健自治会、子ども会、老人クラブ、高齢者学級(赤松学級)、新発田市食生活改善推進委員協議会(松浦地区)、待小サロン、農業生産法人松浦アグリテック、消防団、コミュニティ松浦会、松浦健康体操教室、新発田西地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

● 松浦地区 区長会

1	大崎集落会
2	六日町
3	八幡自治会
4	八幡新田集落会
5	浦自治会
6	浦新田町内会
7	法正橋自治会
8	小友自治会
9	瑞波
10	松岡自治会
11	荒川集落
12	新荒川
13	上中山区会
14	見城第2区

- 地元市議会議員
(大沼長栄議員 湯浅佐太郎議員)
- 地域住民
- 民生委員児童委員
- 保健自治会
- 子ども会、PTA
- 老人クラブ
- 高齢者学級(赤松学級)
- 新発田市食生活改善推進委員協議会
(松浦地区)
- 待小サロン
- 農業生産法人 松浦アグリテック
- 消防団
- コミュニティ松浦会
- 松浦健康体操教室
- 新発田西地域包括支援センター

参加者の声から(抜粋)

- ・これからのスタートであり、何のためにやったかなどを検証したい。
- ・松浦地区の様子が良くわかった。
- ・地域活動の拠点づくり(集落単位)を進めて老人達が集まりやすくしていく。地域づくりによるボランティアの養成等、人材の掘り起こしなど、豊かな自然環境の活用など無限の宝が多くある。今後スローガンを具体的に実行、実践していくためには、引き続き懇談会の開催が必要となってくる。残念ながら時間の制約があり、十分な情報、意見交換ができなかった。今後の課題として実践に向けて、計画を肉付けしていくため意見交換会、交流会を行ってほしい。
- ・とても良かったです。みんなが集まる事は素晴らしい。
- ・松浦は、どこの地域にも負けないくらい人情豊かで心温かい人が多い。今回このような会を開いていただき、ますます素晴らしい松浦になっていくと思う。ひとつ言わせてもらえば交通の便を良くしてほしい。
- ・松浦地区福祉懇談会を4回行い福祉活動計画を策定したことは、今後活気ある地域づくりに役立っていくものと思う。
- ・有償ボランティアを立ち上げられたらいいと思う。買い物、医者に行けないなど個人の権利まで奪われている。

・懇談会に参加してどうだったか

とても良かった	76%
良かった	24%
良くなかった	0%

(3) ワークショップの様子

～ 和気あいあい 松浦をもっともっと 住みやすく ～

「地域福祉とは～」 敬和学園大学 趙教授からお話していただきました！



みなさん 熱心に聞き入っていますね。



- ① 私たちの地域のいいところ
- ② 身近なところで困っていること
- ③ こんな地域であつたらいいな
- ④ 私たちにできること

みなさん 問題意識がありたくさんの意見がでました！



松浦地区のいいところ
たくさんありますね



ワールドカフェスタイルで
グループワークを行います。
ワールドカフェスタイル？



松浦地区のいいところ
たくさんありますね



私たちのグループの発表
をいたします。

思いつくことをどんどん
書いてくださいな



(4) 松浦地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を出し合い、地域みんなで支え合いの知恵を探しました。
皆さんから多くの意見や知恵が出されました。

1 私たちの地域のいいところ

- ・防災については消防団を中心にまとまっている。
- ・消防団が世代間の交流の要。
- ・消防団がすごい！！大雪でも。
- ・カラオケサークルがあつて活発。
- ・老人クラブが活発。
- ・すもうサークル 年6場所。
- ・サークル活動、すもう、活花。
- ・お盆にすもうがある松岡。
- ・神楽舞が続いている荒川。
- ・城山温泉がある。
- ・温泉がある。
- ・月岡温泉が近い。
- ・小学校の生徒が登下校の際、地域の大人に「おはよう」「こんにちは」と声を掛けてくれるので、すごく元気をもらう。
- ・仕事で村上の方へよく出張します。仕事現場まで行く為に村上まで行って、近くで道を聞きますが、スーツと気を使わずに話が気楽にできますが、この辺りもそうだと思う。
- ・近所とのつきあいがある。
- ・顔の見える関係がある。
- ・ほとんどの人が顔見知りなので、付き合いやすい。
- ・共同作業 草刈り等 全員参加。
- ・山の景色ときれいな川がある。
- ・名所がある 634m。
- ・自然が豊か。
- ・自然環境のいいところ。
- ・水がきれいでお米がおいしい。
- ・おいしいお米がある。
- ・田んぼの手入れが良い。
- ・近所付き合いが非常に良い。
- ・基本的に助け合いや人情が深い。
- ・部落内の行事等でほとんど全員出席して協力している。
- ・隣近所とのつながりがある。
- ・隣近所あいさつがよい。
- ・顔を合わせると必ずあいさつをする。声を出し合う。
- ・子供たちが元気で有る。
- ・まとまりが良く親切である。
- ・小部落なのでまとまりやすい。
- ・水がきれい。
- ・自然がいっぱいある。
- ・国道。
- ・山菜の宝庫である。
- ・剣龍峡という観光スポットがある。
- ・剣龍峡。
- ・農村地域でおだやかである。
- ・静かで住みやすい。
- ・田畑があり楽しみにしている人が多い。
- ・温泉が近くにある。
- ・温泉が近いのでいつでも行ける。
- ・城山温泉もあり楽しみの所である。
- ・米がおいしい。
- ・持家が多い。
- ・バーベキュー大会。
- ・親睦会をやっている。
- ・共同募金等は100%協力している。
- ・昔ながらの地域の行事やおまつりが行われている。
- ・盆踊りを毎年やっている。
- ・無形文化財(盆踊り)がある。
- ・お祭り同好会で祭り以外の活動もしている。
- ・温泉があつて、入ると心や体がやすまる。
- ・訪問すると快く話をしてくださる。
- ・犯罪が少ない。
- ・メインの国道があり意外に便利である(バス路線がある)。
- ・集落全体の行事がある。
- ・地域の行事、交流会で集落の人の参加が多い。
- ・稲が実った秋が素晴らしい。
- ・緑が豊かである(自然が多い)水がきれい。

2 身近なところで困っていること

- ・山の景色が良い。
- ・自然がいっぱい山も川もきれい。
- ・水がおいしい。
- ・交通事故が他の地区より少ない様に思う。
- ・道路、特に雪の時良くなった。
- ・交通の便が良い。
- ・朝子供たちに会うと、ちゃんとあいさつしてくれる。
- ・災害が少ない（洪水、地滑り）。
- ・水害もなくなり住みやすい。
- ・老人会の友愛募金が市内老人会中でトップであり、心強い事と思う。
- ・誰とでも気軽に話し合える。
- ・女性で料理上手な人がたくさんいる。
- ・規律が良く秩序も良い。
- ・皆さん付き合いやすく協力的である。
- ・人間関係が良い。
- ・顔見知りが多数いて会うと和やかになる。
- ・何かやって皆でつながろうとしている（アグリ、相撲の会、かぐら、ちごまい等）。
- ・部落で同じ様な年代の人達でお茶会や旅行が有るので良いと思う。
- ・知っている人に会うと心が温まる。
- ・優しくおだやかでつながりが強い。
- ・集落の団結力が強い。
- ・小学生等、子供たちが良くあいさつをする。
- ・対話をすると、とてもやさしさの多い人がいる。
- ・年配の人達が畑で話をしている姿が大変良いと思う。また、畑の事をいろいろ教えてくれる。
- ・集落のルールが守られている。
- ・山、田んぼがあり環境が良い。
- ・増川は水と空気が良く車の音は聞こえない。
- ・自然が豊か。
- ・水（用水）がきれい。
- ・自然災害の少ない地域。
- ・人が良く、やさしい人が多い。
- ・人柄が良く住みやすい。
- ・人のまとまりがいい。
- ・食育推進の活動がさかん。
（栄養講習会6会場が多く集まる）
- ・松岡育成会は石動神社で伝統行事を行っている。
- ・跡継ぎがない家庭が多い。
- ・年寄りが多い。
- ・子供の声が聞こえない。
- ・少子化の進行。
- ・20才以下の人がいない。
- ・自治会役員のなり手がいない。
- ・道路がせまく大型車が入れない⇒消防車が入れない。
- ・道路がせまい⇒除雪ができない。
- ・交通の便が悪い（バス本数が無い）。
- ・買い物は車で行かないと行けない。
- ・年寄りが困っている 買い物へ行くのに車がない。
- ・買い物、医者通いが出来ない人が多い。
- ・近くに店が無い。
- ・どんどん閉店 小さい店が成り立たない。
- ・医者が無い。
- ・猿害により耕作しない畑が増えている。
- ・猿を追いはらい隊。
- ・イノシシ・熊・カラスの害。
- ・豚舎の悪臭で環境が悪い。
- ・空き家がふえている。
- ・国道の交通量が年々増加してうるさい、子供が危険。
- ・道路がせまくあぶない。
- ・「猿」被害が多くある。
- ・バスが減って子どもの通学など支障がある。
- ・高齢者の交通機関がない。
- ・交通機関が少ない。
- ・高齢者が多く通院にこまっている。
- ・交通手段が少ない。
- ・交通の便が悪い。
- ・除雪が大変だ。
- ・雪が多くて除雪が間にあってない。
- ・地域活動を行う施設が少ない。
- ・店が少ない。
- ・買い物が不便。
- ・生活必需品の調達が遠い。
- ・医者がいない。
- ・医療機関がない。
- ・農家人口が減ってきて維持管理が難しくなっている。

- ・農家の担い手が少ない。
- ・高齢化が進んでいる 65歳以上が45%以上になっている。
- ・高齢化している。
- ・一人暮らしが増えている。
- ・介護施設がない。
- ・子供がいない。
- ・子供が少ないので活気がない。
- ・若者の集落離れが多い。
- ・子供達が少ない。
- ・人口が減っている。
- ・店、医者がなく車がないと不便。
- ・交通問題（バス等）。
- ・新幹線が近くにあると良い。
- ・集落全体で楽しむものが年々少なくなって来ている（運動会、野球、ソフトボール、盆踊り等）。
- ・やさしくおだやかだが今ひとつ刺激がないかな。
- ・集落（地域）の活気が感じられない。
- ・もの、環境に対する考え方にあまい所がある。
- ・核家族がふえ、一人暮らしの人が増えて来た。
- ・子供が少ない（子供会の世帯数減）。
- ・結婚適齢期での独身者が多い。
- ・未婚者が多く子供が少ない。
- ・過疎化。
- ・人口が、年の若い方が少ない、働く職場が多くなると良い。
- ・ひとり者が多く子供も少なくなっている。
- ・若〜い人は同居しはじめている。
- ・高齢者一人暮らしが増えてきている。
- ・雪が降ると国道に出にくい、交通が不便。
- ・子供が少ない。
- ・隣組の人数が少なくなり組長がすぐ回ってくる。
- ・猿の被害にこまっている。
- ・人の話にケチをつける人もいる 陰でコソコソ言っている。
- ・技術を伝える人が減っている。
- ・防災に関して意識がうすい。
- ・交通マナー向上について良く考えてほしい。
- ・病院に行くのに交通手段がない。
- ・車がないと生活ができない、一人一台必要。
- ・バスが通っていない。
- ・一人暮らし高齢者の方々が大変である。
- ・買い物に行くのに手段がない。
- ・結婚しても街に出てしまう。
- ・結婚していない人、嫁さんをもっていない人が多い。
- ・後継者不足、嫁不足、一人暮らしの家がある。
- ・未婚者が多い。
- ・結婚しても街のアパート住まいとなるケースが多い。
- ・全国的だが、農村社会は人口減で、地域で農業を行える状況でなくなった。嫁さんも敬遠。
- ・子供の人数が少ない。
- ・今年、子供が一人も生まれていない。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・隣の年寄りに子守を頼めるような地域が良い。
- ・空き家が安く借りれる地域が良い。
- ・空き家を利用して若い人が定住したくなるような地域であつたら良い。
- ・野菜のおすそ分けが有つたらよい。地元企業(アグリ)とのタイアップが良い。
- ・若い人たちが住みたくなるような地域であつたら良い。
- ・消防団、集まることを強みとすることが重要。
- ・自主防災、初期段階のとりくみ、消防団が来るまでの間自分たちで何とかする。
- ・消防にかかる費用は保険に入っている。
- ・自主防災の人達の為に活用したらどうか。川東は全集落につくった。
- ・自主防災は昼に家に残っている高齢者等で地域を守る⇒災害だけでなく支え合いに活かす。
- ・老人クラブも、もっと協力できる体制 それぞれの集落に自主防災をつくる。
- ・家にいる人でボランティア登録できる人を登録する。
- ・サポートできる人の登録制度（松浦版）。
- ・社協の有償ボランティアの様な松浦版。
- ・有償ボランティア わずかな対価で手伝いを頼めるような人間関係 過疎地域の有償ボランティアづくりがあってもいい。
- ・気軽に声かけできる恥しがらない場所。
（例）待小家サロン

- ・小学校を活用して高齢者がいきいきと・活動できる地域作り。
- ・松浦小学校の跡地は松浦地区の空き校舎検討委員会を立ち上げること。
- ・川東にできる特別支援学校（車野）ができる予定 市は無償で貸す予定。
- ・人の多く集まる地域であってほしい。
- ・歩いて買い物に行ける。
- ・顔が見えるつながりがある。それを生かすこと。
- ・人の集まる地域。
- ・気軽に声をかけ合える。
- ・困ったら声を出したら、いつでも助けてもらう地域づくり。
- ・気安く言えるような環境づくりが必要。
- ・松浦に老人ホームやデイサービス施設が出来ればどうか（老人は増えていくばかり）。
- ・高齢者施設と医療が一体となった施設。
- ・高齢者の施設と幼稚園を一体。
- ・子供から高齢者まで一緒に楽しめる施設。
- ・高齢者の施設に幼稚園が併設できれば良い（若い人たちが集まるもの）。
- ・高齢者が安心して暮らせる地域。
- ・松浦地域において、これから基盤整備が始まるので終わった後の環境整備及び課題等々。
- ・自然環境の良い地域になるといいと思う（水、ゴミ、豚舎の臭、etc.）
- ・交通量が少なく夜は静かである 暴走車も見られなくなった。
- ・南バイパスが県道まで完成すると村の狭い道路がピンチ（すれちがいができない）。
- ・国道沿いにもっときれいに花を植えたりする（季節々に植え替えをしたり）。
- ・誰もが顔を合わせればあいさつのできる地域。
- ・隣近所の家との関係が良く、困ったときに助け合いができる。
- ・弱者（高齢者や障害者など）の見守りを行っている。
- ・ボランティア活動が活発になる。
- ・近所同士で助け合う地域づくり。
- ・困った、助けてと近所に言い合える地域。
- ・若い人が住みやすい地域。

- ・若者が住み続けられる地域づくり。
- ・いつでも子供が外で遊んでいる地域。
- ・若者、子供が多くいる地域。
- ・若い人、子ども人口増えるといいな！
- ・これからも地域交流が活発に続いてほしい。
- ・みんな勤めているので交流の場がだんだん少なくなったので交流があったらいい。
- ・子どもから高齢者まで一緒に参加できる地域の行事がある。
- ・松浦地区の住民（老若男女）だれでもが一つになって年に何度かの行事を行う たとえば、松浦地区内の松浦ウォークなど。
- ・老若男女が気軽に交流できる地域になったらいい。
- ・地域行事への参加が多いといいな。
- ・気軽に集まれる場所があるといい。
- ・働く場所がたくさんあるといい。
- ・働くところをもっと多くあればいい。
- ・近くにショッピングセンターがあったらいい。
- ・買い物が便利だといいな（移動販売）。
- ・医療機関が近くにある地域を望む。
- ・松浦地域において医療機関がない できたらいいと思う。
- ・高齢者など楽しい集いに気軽に出かけられるような交通機関があるといいな（高齢者の足）。
- ・だんだん車の運転も思うようでなくなって来るので（年老いて）コミュニティバスを利用、たとえば曜日や時間を決めてなるべく大勢の人が一度に利用できるように。
- ・買い物の不安がない地域（移動販売車など）。
- ・買い物、ショッピングセンターが近くにあるといい。松浦近郊に欲しい。
- ・近くで買い物ができる地域。
- ・交通の便が悪くコミュニティバスがあるといいな。
- ・コミュニティバスがあれば良い。
- ・みんな元気でいきいき楽しく過ごす（運動、習い事、歌、カラオケ、温泉、他）。
- ・年をとっても孤独を感じない地域。
- ・地域内の交流がある地域（助け合い）。
- ・子ども、お年寄りの方が遊べる公園のある地域。
- ・地域を愛しつながり合っていく。
- ・活力ある地域づくり。

- ・若者の定住化と地域の活性化。
- ・本気になって婚活を進める人がいたらいいな。
- ・地域に産業、働く所が来てほしい（個人所得増、婚活、出産）。
- ・若い人が喜んで住める地域。
- ・各年代の集まりで旅行に行ったりしたい。
- ・何かイベントがあるときは声をかけたら大勢集まるようにしたい。
- ・イベントなどに子供も大人も楽しく参加できる地域であってほしい。
- ・イベントの時はプレゼントの寄付を募り、子育て世代も参加を募る。
- ・松浦地区民皆が参加できる行事がある地域。
- ・自然を活かした行事や活動できる地域。
- ・習い事ができる所が近くに沢山あったらいい。
- ・趣味の会など、どのくらいあるか調べてみる。
- ・若い人も年老いた人も一緒になって活動できるような事ができるといいな。
- ・他のところと一緒に出来る可能性は？
- ・老人の活動推進。
- ・友達作り。
- ・さまざまな活動に自主的に参加する。
- ・交通（バス）の便の良い地域。
- ・公害がなく自然あふれる地域。
- ・子どもたちの多い地域。
- ・人口が増えて活気のある地域。
- ・若い世代の方の交流があれば地域が活発化すると思う。
- ・子どもが大勢いる地域。
- ・笑顔でみんな挨拶ができる地域。
- ・困ったときに気楽に助けたり、助けられたり出来る地域。
- ・隣近所の方たちが声をかけ合うことができる。
- ・あいさつが活発な地域。
- ・二世帯住居、近くに団地があると良い。

4 私たちにできること

- ・今の子供は昔にくらべて元気な返事をする。
- ・民生委員児童委員は子供の声かけを行っている(登下校時)。
- ・交通安全協会と一緒に子どもの登下校の声かけをしている。

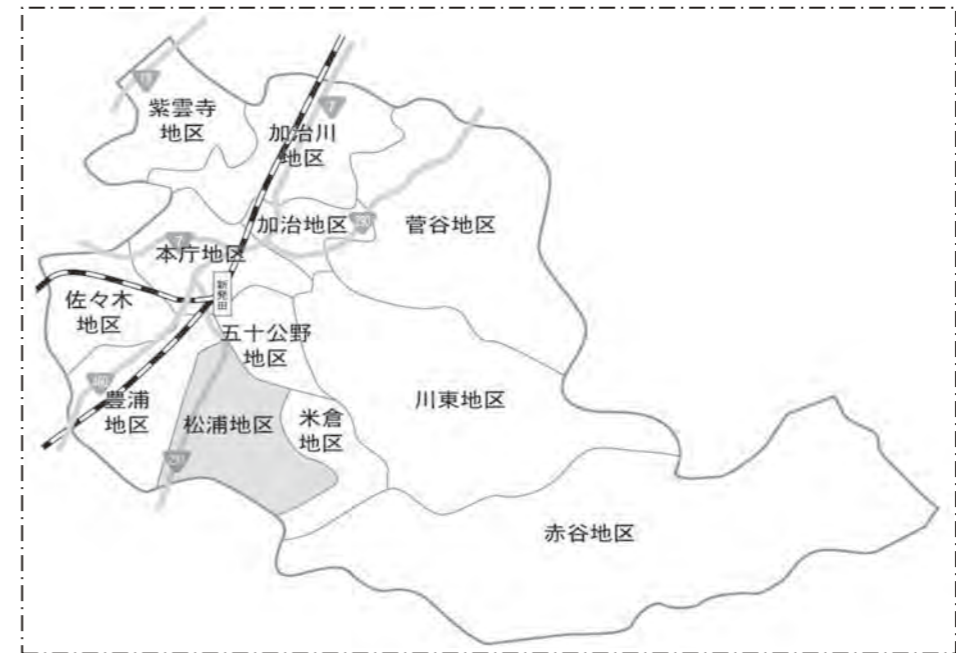
- ・地域で手伝える事を登録しておき困ったときに助ける。
- ・いつでも声かけられ、お互い様精神で手助けを楽しんでいる人に答えることができる地域。
- ・すこしでもお礼があると、たのみやすい。
- ・顔がわかる、つながりが強いことが地域の良さ。それを生かすことが大切。
- ・困ったとき気楽に言いやすいような地域づくりのため声かけをする。
- ・高齢者のサロンづくりがまず第一、それがスタートとなる。
- ・家の鍵をかけないのが松浦の文化、それが良い点であり伸ばすことが重要。
- ・野菜の直売所を立ち上げる。
- ・有償ボランティア（気軽にお願ひできるしくみづくり）。
- ・年寄りの送迎ができる位のサービスができれば良い。
- ・松浦版の輸送のボランティア（法律の問題もある）。
- ・冬期間送迎がやっと可能になった。
- ・小学校の送迎バスをうまく活用できればと思う。
- ・空き校舎活用委員会で。
- ・交通マナーを守る スピードは出さない、弱者をいたわる。
- ・ゴミや空き缶のポイ捨てをしない、させない 道路を汚さない。
- ・健康体操を体の続く限り、続けていきたい。
- ・話し相手ができる。
- ・困った人に出来るだけ手助けをする。
- ・ボランティアをする。
- ・買い物代行（一人暮らしの人への声かけ）。
- ・頼まれれば買い物などしてあげたい。自分の用事とともにボランティア活動など、声をかけてもらえば、自分で出来そうなことなら何でも。
- ・近所の人達との助け合い。
- ・誰とでも一声運動。
- ・近所の人と会ったらあいさつが出来る。見守りができる。
- ・隣近所への声かけ
- ・あいさつをする。
- ・声かけ運動、一人暮らしの人達の話聞いてあげる。
- ・近所同士の声かけ。
- ・積極的に集いや行事などに大勢の人に声をかけ、自分から参加する。

- ・地域活動に参加する。
- ・地域活動への参加。
- ・お祭りに行く。
- ・地域行事に参加する。
- ・地域の行事に参加できる。
- ・おすそ分け、したりされたりする。
- ・集落の女性たちが集まって楽しい交流、お茶飲み会。
- ・集う会 ⇒ 手仕事へ発展させる ⇒ 収入。
- ・サロンのようなものを作る。
- ・将来の夢を語る会みたいな事をやってみたい 環境とか等々。
- ・まず自治会の機能を活発にする。
- ・買い物に行けない人がどの程度いるのか把握する。
- ・活性化に向けて地域を上げて取り組む。
- ・住民参加で小さなことから始める。
- ・道路、側溝の掃除。
- ・この様な話し合いを我々の各地区で定期的にしていく。
- ・子どもに（小学生）将棋を教える事。
- ・趣味の指導（子ども、大人）。
- ・地域の良い所を他の地域にアピールする。
- ・地域の若いリーダーを育む！（消防団）。
- ・子どもたちに野球などスポーツを教える。
- ・地域にある伝統行事に子供達も若い人も大いに参加させていく（つなげていく）。
- ・地域の良さを子どもたちにも若い人にも知ってもらい地域大好きにしていく。
- ・要請されたら協力したいと思う（イベント、協力、手助け）。
- ・何でも進んで参加する。
- ・世代を超えた仲間づくり。
- ・いろいろなイベントに積極的に参加する（誘いかける）。
- ・趣味が同じような人と交流する事。
- ・地域の行事、イベントがある時には積極的に参加する。
- ・独身の男女への婚姻の声かけ。
- ・近所づきあいをよくする。
- ・健康（予防）に進んで努力する（運動活動、うた、ラジオ体操、笑う、集まる）。
- ・ご近所の方と挨拶、声をかける（訪問）。
- ・一声運動を進めていく。
- ・声掛け合い（お年寄り、子ども達、ママたち）。
- ・楽しみ喜びを見つけ出していく。
- ・お年寄りの話し相手。

5 松浦地区の概要

(1) 位置及び特徴

松浦地区は、田園風景が広がる穀倉地帯で、自然環境に恵まれた人情の厚い心豊かな人達が暮らしている地域です。何回かの合併を繰り返し現在に至っています。[次頁](#)に合併の歴史を記載しています。



■ 自然景勝地 剣龍峡

剣龍峡は、新発田市南部の山間部に位置する1km四方位の景勝地です。徳川時代の初期から広く世に知られ「越後野誌」にも載っている「剣龍峡」という名称は、昭和20年頃深い山峡から流れる溪流に「龍」の伝説にちなんで付けられたと言われ、奇石、怪石を含んだ溪流、溪谷の総称です。昭和31年当時の庭園師の第一人者である京都の田中泰阿弥師が「清水園」の修復に来られた際、一日中剣龍峡遊び、剣龍峡の岩はすべて砂岩で丸みをおび、女性的であり、日本にいくつもない景色のひとつです。

また、平成25年5月22日に開業した東京スカイツリーの高さと同じことから、人気にあやかろうとスカイツリー開業2日前の5月20日、剣龍峡登山道の頂上付近に、地元有志で作成した標高634メートルの標柱が設置されました。

■ 主な農産物 オクラ 米 柿

■ 祭り

- 春3月 ショウキ祭り(浦の正貴祭り)
新潟県指定無形民俗文化財(風俗習慣)
- 夏8月 八幡の八幡様 松岡の石動神社
- 秋 中山神社から11月の荒川の山の神様
※八幡宮のご祭礼
八幡宮は、創建が大同2年(1807)
8月15日と伝えられている。

■ 教育・保育施設 松浦小学校・松浦保育園

■ コミュニティ等 まつおか
待小家サロン(松岡公会堂)

■ 地域包括支援センター

新発田西地域包括支援センター(担当地域)

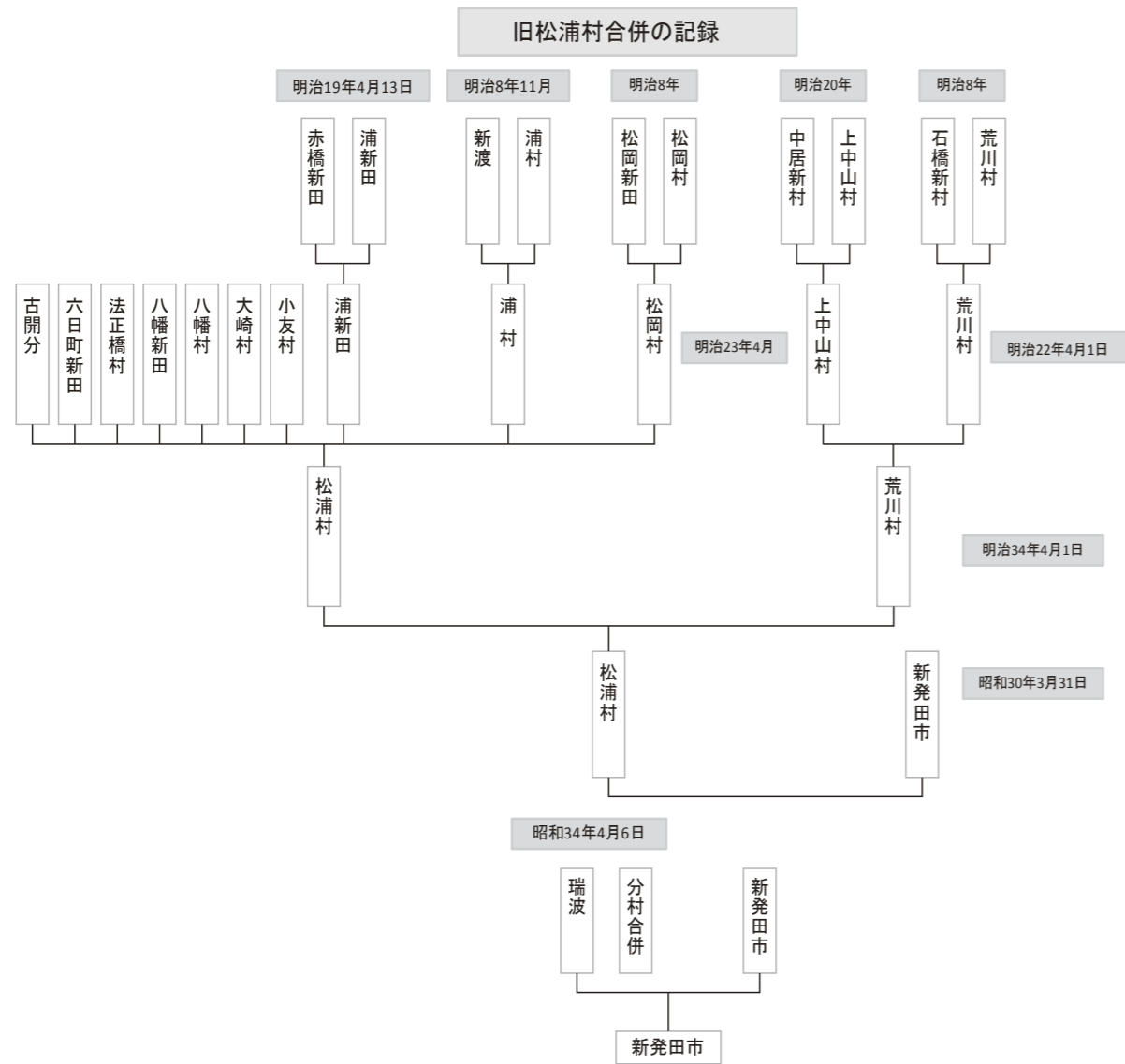
■ ゴルフ場 新発田城カントリー倶楽部

■ その他 JA 北越後松浦支店 松浦郵便局

(2) 松浦合併の歴史

明治維新まで松浦地区は、幕府直轄領(天領)と溝口藩領の二つに分かれていました。南部の荒川、上中山は幕府直轄領で、それ以外の各部落は、皆溝口藩領であった。それが松浦村として固定化するまでは、大別して6回合併の動きがありました。明治8年には、荒川と石橋新村、松岡と松岡新田、浦村と新渡の合併がありました。明治19年4月13日には浦新田と赤橋新田が合併し、翌明治20年には、上中山と中居新村が合併し、明治22年4月1日に、荒川と上中山が合併して荒川村となりました。松岡、浦村、浦新田、小友、大崎、八幡、八幡新田、法正橋、六日町新田、古開分が合併して松浦村になりました。この荒川村と松浦村が明治34年4月1日合併して松浦村と称するようになったのです。その松浦村も昭和30年3月31日、新発田市と対等合併し新発田市となり、その新発田市に今度は、瑞波が分村合併したのが昭和34年4月6日のことでした。

こうして松浦村は新発田市のうち、松浦地区として今日に至っているのですが、荒川村と称した時代は村長も三代で終わっており、松浦村と称してから村長も最後の村長となった五十嵐幸篤氏で、わずか19代でしかありません。これを整理して表にすれば次のようになります。



(出所: しばたニューライフ第48号 表は資料に基づき新たに作成。一部不明あり)

(3) 人口と世帯の状況 (国勢調査による)

(単位: 人)

国勢調査	平成17年				平成22年				増減数			
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口		
		総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女
松浦地区計	664	2,460	1,193	1,267	656	2,250	1,096	1,154	△ 8	△ 210	△ 97	△ 113
大崎	15	55	30	25	15	52	29	23	0	△ 3	△ 1	△ 2
六日町	5	24	11	13	5	20	8	12	0	△ 4	△ 3	△ 1
八幡新田	31	115	46	69	32	110	46	64	1	△ 5	0	△ 5
八幡	60	233	109	124	59	208	97	111	△ 1	△ 25	△ 12	△ 13
浦	77	297	146	151	78	275	139	136	1	△ 22	△ 7	△ 15
浦新田	19	96	45	51	19	94	48	46	0	△ 2	3	△ 5
法正橋	11	49	26	23	11	47	25	22	0	△ 2	△ 1	△ 1
小友	18	81	39	42	18	75	34	41	0	△ 6	△ 5	△ 1
瑞波	8	23	10	13	7	23	11	12	△ 1	0	1	△ 1
松岡	137	530	269	261	133	472	237	235	△ 4	△ 58	△ 32	△ 26
荒川	147	525	256	269	149	504	247	257	2	△ 21	△ 9	△ 12
上中山	136	432	206	226	130	370	175	195	△ 6	△ 62	△ 31	△ 31

平成22年 国勢調査

松浦地区 (単位: 人)

区分	男	女	計
0~4	31	26	57
5~9	33	35	68
10~14	38	52	90
15~19	60	49	109
20~24	60	49	109
25~29	43	55	98
30~34	57	51	108
35~39	61	43	104
40~44	54	62	116
45~49	62	71	133
50~54	106	70	176
55~59	115	109	224
60~64	113	87	200
65~69	65	65	130
70~74	59	83	142
75~79	66	100	166
80~84	44	85	129
85歳以上	29	62	91
年齢不詳			
総数	1,096	1,154	2,250

65歳以上 (単位: 人)

区分	男	女	計
65~69	65	65	130
70~74	59	83	142
75~79	66	100	166
80~84	44	85	129
85歳以上	29	62	91
総数	263	395	658

高齢化率 29.2%

《参考》

国勢調査

年次別高齢化率 (昭和55年~平成22年)

新発田市 (H12年以前の数値は、新発田市、豊浦町、紫雲寺町、加治川村の合算値)

	総数 (人)	年少人口 15歳未満 (人)	生産年齢人口 15~64歳 (人)	老年人口 65歳以上 (人)	年齢不詳 (人)	高齢化率 (%)
昭和55年	102,134	22,162	68,401	11,561	10	11.3
60年	103,552	21,591	68,534	13,407	20	12.9
平成2年	104,499	19,934	68,610	15,932	23	15.2
7年	106,563	18,224	68,806	19,526	7	18.3
12年	106,016	16,266	66,977	22,753	20	21.5
17年	104,634	14,201	65,114	25,318	1	24.2
22年	101,202	12,545	61,747	26,574	336	26.3

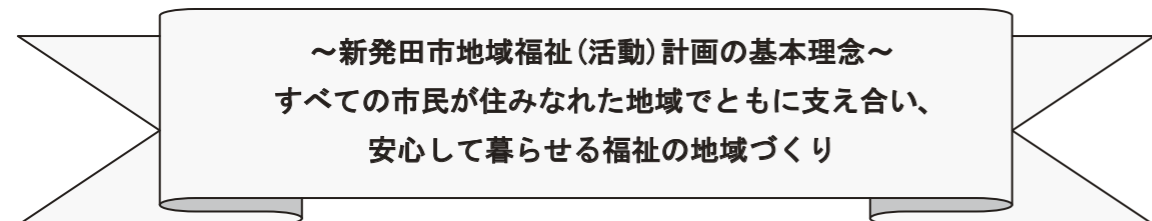
※高齢化率は総人口に占める65歳以上人口の割合

《参考資料》

新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念と体系

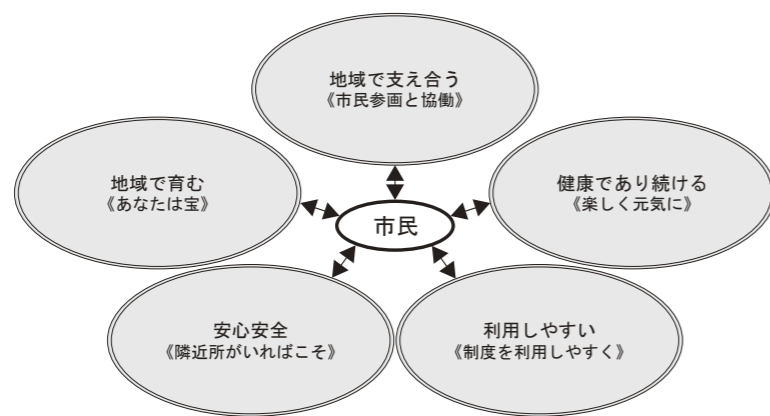
1 基本理念

新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。



※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 新発田市社会福祉協議会

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。

